

令和 7 年(2025 年)6 月 6 日

庁内環境調整委員会 委員長
八王子市長 初宿 和夫 様

八王子市ゼロカーボン指針監査チーム

八王子市ゼロカーボン指針監査 報告書

八王子市ゼロカーボン指針（以下、「指針」という。）に基づき令和 6 年度に実施した監査の結果について、以下の通り報告する。

1 監査の形式

（1）書面監査

各所管が自己点検シートにより自己点検を実施した。

（2）集合監査

監査チームが環境推進監督者より対面で取組状況の聞き取りを行った。

（3）現場監査

監査チームが現地に赴き、指針に基づき取り組んでいるか確認した。

2 監査日程

（1）書面監査（自己点検期間）：令和 7 年（2025 年）2 月 19 日～3 月 7 日

（2）集合監査：令和 7 年（2025 年）3 月 26 日

（3）現場監査：令和 7 年（2025 年）3 月 17 日～19 日（計 3 日間）

3 監査対象

書面監査及び集合監査	現場監査
総務部	安全衛生管理課
生活安全部	防犯課
市民部	恩方事務所（元八王子地域事務所）
産業振興部	恩方農村環境改善センター（農林課）
拠点整備部	都市整備課
まちなみ整備部	建築指導課
監査事務局	監査事務局
学校教育部	教育センター（教育指導課）

4 監査チーム

市民監査員（環境推進会議委員）6名
市民監査員（地球温暖化防止活動推進員）2名
環境政策の専門家 1名
市職員（庁内環境調整委員会幹事会委員）1名

5 監査内容

各所管において、指針に基づきそれぞれの事務事業にあった環境配慮行動の目標を設定し、各所管及び各施設で温室効果ガスの削減に資する取組を実施している。この取組が着実に実行できているかを確認するため、監査対象所管・施設が書面による自己点検を行うとともに、監査チームが集合監査及び現場監査を実施した。

6 監査結果

（1）全体を通して

それぞれの所管が実情に合わせ、指針に基づいた環境配慮への具体的行動を着実に実行しており、今回の監査の結果は概ね良好と評価する。単に環境配慮行動をとるだけでなく、所掌する事務事業や地域の課題解決と温室効果ガス削減の同時実現をした所管も複数あり、引き続き全ての所管で所掌事務における地球温暖化対策の視点を踏まえた取組を実施することを期待する。

市施設より排出される温室効果ガス排出量は、指針において前年度比5.7%削減が目標に掲げられている。令和5年度は基準年度である令和3年度比11.08%削減が目標となるところ、実績は13.36%削減であった。引き続き2030年度目標の達成に向けて、太陽光発電設備の設置や照明のLED化など、具体的な排出量削減に資する取組を進めていただきたい。

項目	目標	令和5年度実績
温室効果ガス排出量	11.08%削減 (令和3年度比)	13.36%削減 (令和3年度比)
太陽光発電設備	設置可能な建築物の50%以上に設置 (2030年度までに)	33%
LED照明	照明100%LED化 (2030年度までに)	照明100%LED化済み施設 17%

（2）評価及び監査所見

ア 書面監査

書面監査の結果は下表の通り。指針に定める職員一人ひとりが当然に実施する具体的な環境配慮行動は、各所管の実情に合わせて着実に実行されていた。

「エネルギー使用量の削減」のうち、「できていない」割合が多い行動は「室内温度を夏期28°C、冬期20°Cを目安に管理している。」と「エネルギー使用量を把握して、グ

ラフ化し、見える場所に掲示するなどエネルギーを見る化することで、エネルギー使用量の削減を意識づけることができている。」の2つであった。前者の取組できない理由は「28℃設定では適切な室温にならない」等であり、電力の無駄遣いはなかった。後者は「職員会議等で前年度比を示し、啓発をしている」等、職場の実情に応じた取組を行っている。

引き続き取組を行うとともに、100%「できている」となるよう期待する。

分類	できている	できていない
指針の理解	98.7%	1.3%
紙の使用量削減	98.4%	1.6%
廃棄物の排出・抑制、資源化の推進	98.9%	1.1%
エネルギー使用量の削減	97.4%	2.6%
環境に配慮した物品の購入	98.9%	1.1%
水道使用量の削減	99.8%	0.2%
公用車を運転するとき	100.0%	0.0%
通勤時の環境配慮	98.6%	1.4%

イ 集合監査

監査対象所管	評価※	取組及び所見
総務部	○	<ul style="list-style-type: none"> 文書管理システムによるペーパーレス化は紙資源削減のみならず、資料の劣化防止やスペースの削減にもつながるので、取組を進めてほしい。 環境配慮行動は風土として定着しているため、これを新規採用職員に研修で根付かせること。維持することも必要だが、さらに取組を進めるため、総務部局として環境部とともに市全体の旗振りをしてほしい。
生活安全部	○	<ul style="list-style-type: none"> 町会自治会の防犯灯を市に移管しLED化したことは、温室効果ガス削減と防犯の維持を両立している。
市民部	○	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードを利用してことで、コンビニ等で住民票などが交付できるようになった。DX化により来庁せずに手続きができることで、利便性の向上のみならず来庁者の移動に伴う温室効果ガス削減にもつながっている。 マイナンバーカード以外の取組も検討し、実施してほしい。
産業振興部	○	<ul style="list-style-type: none"> 自らの施設についてはLED化が進んでいること、中小企業者の温室効果ガス排出量削減に向けた支援をさらにしてほしい。

拠点整備部	○	・施設整備を行う所管である。建設リサイクル法や建築物省エネ法等に基づき環境配慮型の建物を心がけていること。完成したものを活用し、市民に広げていっていただきたい。
まちなみ整備部	○	・引き続き住宅の断熱化・LED化等による省エネ促進をお願いしたい。 ・歩きたくなる、ウォーカブルなまちづくりを通じて、自家用車から徒歩や公共交通機関への転換を図ること。高齢者が置き去りにならない対策を望む。
監査事務局	○	・文書管理システムを活用し、紙の監査資料を大幅に削減したこと。引き続き取組を継続してほしい。
学校教育部	○	・学校のLED化、自動水栓化は評価できる。

※評価は4段階。◎特に優れている、○良好、△改善要望、×勧告

ウ 現場監査

現場監査対象所管・施設	評価※	取組及び所見
安全衛生管理課	◎	・職員向け健康診断を6月と8月の2回実施していたのを6月に一本化し、管理職向けの紙の通知や時間外の削減による電気使用量の削減、健康診断時の会議室利用日数が減ったことによる空調の利用削減がされており、業務課題の改善と二酸化炭素の削減を両立していた。 ・目標を話し合って決めており、職員自ら決めているのがよかったです。
防犯課	○	・防犯灯を町会自治会から市に移管すると同時にLED化工事を実施した。町会自治会の負担軽減と電気使用量削減を同時実現したことは評価できる。移管前よりLEDであった防犯灯より取り外した電球の再利用をさらに促進してほしい。
恩方事務所（元八王子地域事務所）	○	・配架を依頼されたチラシ等の残部を各所管に戻す取組は、所管で作成部数を精査できるようになるので良い。 ・太陽光発電設備の設置及び発電量の可視化による啓発もよい。 ・一長一短ではあるが、使い捨て乾電池ではなく再利用可能な乾電池を利用できるとよい。

		<ul style="list-style-type: none"> ・一部はブラインドがされていたが、断熱・遮熱対策がされている窓が多くなかった。
恩方農村環境改善センター（農林課）	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンシティの視点を踏まえて、主体的な取り組みをしてほしい。森林による気温の低減効果や、樹木の二酸化炭素の吸収固定の役割を意識し、日々の業務内で市民に周知するような積極的な取り組みがあるとよい。（例として苗木市など） ・実情を踏まえて、紙による利用申請の見直しを検討してほしい。 ・来館者に対する公共交通機関の利用や、節電の周知がされていた。
都市整備課	○	<ul style="list-style-type: none"> ・指針の輪読を行い、職員への周知を図っている。
建築指導課	○	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車を利用することが多い職場なので、都度エコドライブの声がけがされている。
監査事務局	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・監査にかける書類を、従来は所管から紙で受け取りコピーしていたところ、文書管理システムに登録されている監査対象書類を読み取れる権限を付与してもらうことで、紙使用量の削減をしている。単に文書管理システムを利用するのみならず、所掌事務に有効に活用していることが評価できる。
教育センター（教育指導課）	○	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤を自家用車から自転車や公共交通機関に働きかけるようにしている。 ・大規模修繕前に一部 LED 化を実施しており、評価できる。

※評価は4段階。◎特に優れている、○良好、△改善要望、×勧告

（3）是正勧告
なし